即、始動！
ゆがわら創生。

2007年（平成19年）4月22日、夜10時頃、「当選確実」の情報が事務所に伝わり、皆さんとともにその喜びを分かち合ってから、8年が過ぎようとしております。

振り返りますと、早かったなと思うのが素直な感想です。そして、いろいろな事が思い出され、あんな事こんな事があったと、決して短い時間では無いと気付かされます。

1期目の4年間は、何をおいても「行財政改革」を最優先に進める事に努めました。皆さんの記憶にもあるかと思いますが、2007年、353億円の赤字を抱えて事実上破綻した北海道夕張市。この事実は報道によって、多くの国民に情報共有がなされました。その後多くの町民の皆さんが、我が町湯河原は「今どんな財政状況?」「大丈夫?」「その対策は?」、そんな声が多く聞こえて参りました。

そして次の4年間の始まりは、未だ復興途上と言わざるを得ない、いわゆる「3.11東日本大震災」直後でありました。被災された方々、その地域の皆さんをお見舞いする思いと同時に、その現実があまりにショッキングな事ゆえに、「湯河原町は大丈夫?」と言う声が、日に日に増していく中でのスタートでした。

では、これから先の4年間は、何を考え、どのような取り組みをと言う事になりますが、皆さんもご存じの通り、やはり「人口減少社会」にどう向き合うかに尽きるかと思います。これまで誰も経験した事の無い、成熟した社会での「我が町湯河原」の行く末を、しっかり考えていかなければと思っております。

これまで皆さんの声に耳を傾け、時には問題解決の為に、ご相談やご意見をお聞かせ頂き、自分なりに判断をして参りました。その判断をする際や、事を進める際に、常に心がけて来た「公平性 透明性 確実性」をこれからも忘れず、愚直に湯河原町の為に頑張っていく事をお約束いたします。

冨田幸宏

2期8年を振り返り 新たな決意へ。

●4年間のおもな実績

◇**財政再建の取組み**/町債（借入金）を8年間で約29億円減額（近4年間は減額水準を維持）、基金（積立金）を約1億円増額（H25年度末時点）

◇**行財政改革の取組み**/町長・特別職等の給料20%カット〈効果額:4,340万円〉、職員数の10%削減を達成〈効果額:1億4,100万円〉

◇**安全で安心なまちづくり**/海抜表示板を138箇所、津波避難誘導板を43箇所、津波避難ビル表示板を11箇所に設置

◇**子育てを応援**/「子育て支援給付金」を8年間で延べ187人（近4年間:90人）に給付、「湯河原ファミリーサポートセンター」を設置〈利用件数:延べ375件〉、保育園待機児童0（ゼロ）を8年間継続

◇**魅力ある学校教育を応援**/中学校給食導入に向け、「湯河原中学校給食検討委員会」を設置

◇**高齢者の元気を応援**/公園体操・老人クラブ体操・区会体操に延べ約2,000人が参加

◇**活気あるまちづくりを応援、心のかよう環境整備を応援**/「住宅リフォーム制度」の創設〈経済効果:5億2,600万円、助成件数418件〉、「プレミアム商品券」販売の継続〈発行額:2億6,400万円〉、コミュニティビジネスへの支援として「梅の宴」入園料支払いに「Suica/PASMO」の電子マネーを導入

“心のかよう 元気あるまちづくり”を目指して、更なる決意へ。

●冨田幸宏のみなぎる熱意！

「続・ゆがわら元気回復プラン」は、2つの柱！

その1
五つの元気なまちづくり応援施策
～笑顔あふれる元気なまちを目指して～

1　活気あるまちづくりを応援します！

(1)宿泊観光客数の増加に取り組みます
(2)特産品・地場産品の全国発信を検討します
(3)「空き家」「空き店舗」対策を検討します

2　安心して暮らせる環境整備を応援します！

(1)災害対策をさらに強化します
(2)地域課題の解消に努めます
(3)心豊かな暮らしを提供します

3　子育てを応援します！

(1)小児医療費の自己負担分を小学校卒業まで補助します
(2)「(仮称)子育て支援センター」を開設します
(3)「保育園待機児童0」の継続と保育園機能のさらなる充実を図ります

4　魅力ある学校教育を応援します！

(1)教育「大綱」の策定へ向け、「総合教育会議」を設置します
(2)中学校給食の導入への検討を深めます
(3)学校支援ボランティアの活用を進めます

5　高齢者の元気を応援します！

(1)高齢者の暮らしやすい環境づくりを推進します
(2)高齢者の健康づくりをさらに推進します
(3)「健康寿命日本一」を目指します

その2
五つのゆがわら創生に向けた取り組み
～まち・ひと・しごとの創生を目指して～

1　人口減少対策に取り組みます！

(1)民間企業、大学等と連携した地域活性化を推進します
(2)地方版総合戦略の策定を行います
(3)多くの人、多くの業種の意見を大切にします

2　行財政改革をさらに推進します！

(1)町長をはじめ特別職の給料20%カットを継続します
(2)管理職数と職員数の削減水準を維持します
(3)高齢職員の給与抑制等、人件費の削減を継続します

3　客観的な評価制度に取り組みます！

(1)事務事業評価を本格的に実施します
(2)目標管理による能力と実績に基づく人事評価システムを構築します
(3)新総合計画の後期基本計画策定時等のまちへの評価を重視します

4　公共施設等の総合的かつ計画的な管理運営を図ります！

(1)老朽化や利用の状況、中長期的な経費の見込み等を示します
(2)公共施設等総合管理計画を策定します
(3)公共施設等の最適な配置を検討し、その実現に取り組みます

5　下水道事業へ公営企業会計を導入し、経営の明確化と健全化を図ります！

(1)発生主義に基づいた複式簿記により経理することで、減価償却費を含めたコストの明確化と統一的なルールによる経営分析を可能とします
(2)複式簿記のルールに基づいた財務状況を開示します
(3)水道事業、下水道事業及び温泉事業の一体的経営を目指します

★マニフェストの詳細につきましては、ホームページ【www.tomita-yukihiro.com】をご覧ください。

冨田後援会 ■〒259-0303 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥4-8-14■TEL:0465-64-0231 ■FAX:64-0238
■http://www.tomita-yukihiro.com ■E-mail info@tomita-yukihiro.com

頒布責任者　五味康隆　湯河原町土肥1-4-39　/　印刷者　有限会社タケダ印刷　湯河原町中央2-3-1

討議資料